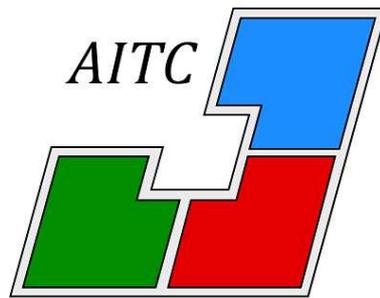


平成29年度

決算報告書



自 平成29年4月 1 日

至 平成30年3月31日

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

平成29年度 決算報告書

地方独立行政法人青森県産業技術センター

(単位:百万円)

区分	予算	決算	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,949	4,027	78	
施設費	—	176	176	(注)1
自己収入	248	262	14	(注)2
売払収入	191	180	△ 11	
使用料及び手数料収入	10	23	13	
助成金	2	11	9	
農商工連携ファンド運用益収入	39	39	0	
雑収入	6	9	3	
受託研究等収入	185	206	21	(注)3
補助金	83	51	△ 32	(注)4
寄附金	—	0	0	
目的積立金取崩収入	—	36	36	(注)5
計	4,465	4,758	293	
支出				
業務費	3,624	3,551	△ 73	(注)6
試験研究経費	1,231	1,076	△ 155	
農商工連携ファンド補助金経費	39	57	18	(注)7
人件費	2,354	2,418	64	
一般管理費	573	638	65	(注)6
(内人件費)	(454)	(449)	△ 5	
受託研究等経費	185	206	21	(注)3
施設費	—	176	176	(注)1
補助金	83	51	△ 32	(注)4
寄附金事業	—	0	0	
計	4,465	4,622	157	
収入-支出	0	136	136	

(注)1 年度当初の計画にはなかった「青森IoT開発支援拠点整備事業費(青森県[地方創生拠点整備事業交付金活用事業])」が当期に交付されたことで増加したものであります。

(注)2 年度当初の計画より、農作物販売収入が減少したものの、民間企業からの依頼試験や機器貸し出し件数が大幅に増えたことや、公益財団法人21あおもり産業総合支援センターによる「あおもり元気企業チャレンジ助成事業」の採択による助成金の交付があったことなどにより増加したものであります。

(注)3 年度当初の計画にはなかった「革新的技術による無花粉スギ・ヒノキ苗木生産の効率化・省力化と無花粉品種の拡大事業(国立研究開発法人 森林研究・整備機構)」及び「先端技術を活用した世界最高水準の下痢性貝毒監視体制の確立事業(国立研究開発法人 水産研究・教育機構)」などが新たに追加となったことにより増加したものであります。

(注)4 年度当初の計画に計上した「生体材料の観察に適した倒立蛍光デジタルスキャナの開発事業(東北経済産業局)」が事業の見直しにより廃止となったことなどにより減少したものであります。

(注)5 当期は、工業総合研究所「紫外可視近赤外光自動絶対反射率測定装置」やりんご研究所「冷蔵収納センター冷蔵設備改修工事」及び「あおもり農商工連携支援基金による助成金」に目的積立金を取り崩して充当しました。

(注)6 年度当初の計画では業務費として計上されていた経費の一部が、精査の結果、一般管理費として整理されたことにより増減額が発生したものであります。

(注)7 年度当初の計画より応募事業件数が増加し、厳正な審査及び実地調査の結果、助成額が増加したものであります。